

愛知県教員採用試験の感想

(盲・聾・養護 小)

1、勉強時間、方法について

勉強は、はっきりいってあまり気合が入りませんでした・・・

でも、3年春の実習で、実習校の先生に「**まだやってないの！？**」と叱られて、参考書はなんとなく買って、教職教養だけ、3年の時からやりました。**ぼちぼちぼちぼち**、**1日5ページ**とか、やりました。でも、そのおかげで、4年の春には大半の教職の問題が分かるようにはなりました。マニアックな所も攻められたし。

一般教養と専門教養は、4年春の実習後、集中的にやりました。1日10時間を目標に(実際やって8時間だった)やりました。実習のおかげで、モチベーションを高めることはできました。

2、1次試験について

筆記試験は、案の定、できませんでした。

なんてたって、当日まで、「専門教科」が小学校全科だって、知らなかったくらいだから(!)電車の中で、情報通な友達にいろいろ聞いて、試験に臨みました。(専門の勉強は、小全と特殊の2つ、やったんです・・・)

お昼からの集団面接は、待ち時間が長かったので、心の準備やシュミレーションができました。面接は、5人一組で挑みました。内容は、

- ・ **障害児教育を志望したきっかけは？**
- ・ **社会人として、大切なことは何だと思えますか？**
- ・ **教職って、大変だよ。いつもいつも同じことの繰り返しだし、子どもはすぐには変わらないし。限界を感じた時、あなたはどうしますか？**
- ・ **何か、どうしても言っておきたいことを言ってください。**

以上の4つです。たいしてイヒョウをつくものではなかったので、安心しました。1次試験の面接は、他の人のを聞いていても、そんなにヘンなことは聞かれなかったみたいだから、安心していいと思います。それよりも、わたしは

- ・ **いかに様々な経験をしてきたか。**
- ・ **経験からいかに自分を成長させられたのか。**

この2つを試験前、整理しておきました。ノートに書いて。たまたま(?)私は積極的に、いろいろな活動に参加していました。色んな人と会って、いろいろなことを考えた、そのことを教育に結びつけるために、ノートに書きました。**経験から物事を話したほうが、絶対説得力がある!**と思うので。ていうか、自分にはそれしかなかったから。頭悪いから、理論立てて話せないし。

3、2次試験の勉強方法

(ここからは、話半分に聞いてください。まだ2次の結果待ちの時に書いているので)

「あんなに筆記ができなかったのに、受かるわけない!」と思っていましたが、「半分はできたっていう確信があれば、とおるよ」という先輩の話聞き、それでも自信なく過ごしていました。

合格通知をもらってからも、どうしてもやる気が出ませんでした。プライベートでいろいろあって、精神的にやられていて。それでもがんばったことが2つあります。それは

- ・ 腹筋と反復横とび
- ・ 小論文の練習

です。養護学校教員は、体力がないとできない!と、思ったからです。腹筋は、1分間に28回以上やれたら、A判定らしいですよ。反復横とびは、友達とやりあって、最高は20秒で55回でした。小論文は、

- ・ 理想の教師像
- ・ 私の目指す学級経営
- ・ 私の教育方針

の3つを、書いて書き直して、友達に見せたり先生に見せたりしました。

集団討論は、2次受かった人たちで集まって、シュミレーションしました。1回でもやっておくと、「こんなもんなんだな」ということが分かっていいです。でも、2回くらいやった方が、雰囲気をつかめるだけでなく、どういう発言をすればいいのかが分かっていいかもしれません。

4、2次試験 1日目

クレペリン検査・・・疲れた！しかも、初めてだったので要領がつかめなかったから、やってる途中でやり方を代えてみたりしたので、見た目がたがたです。「問題あり」って結果が出たら、どうしよう・・・

専門教養・・・またもやできませんでした！もういうことがないです・・・

小論文・・・テーマは「ほめる」ということについての考えと、それを教育活動にどう活かすか、です。ほめ方のうまい教師になりたいと主張してきた私にとって、ラッキー！と思えるテーマでした。しかし、参考文献は、誉めることを否定的とも取れる内容の文章でした・・・

参考文献

「アンドレアがお札を落とした。ジョージ（じゃなかったけど、子どもの名前ね）がそれを拾い、先生に持っていった。先生は、『君は正直だね。先生は君を誇りに思うよ』と言ってほめた。しかしジョージは、過去に物を盗んだ経験があった。『もし、そのことが先生に分かったらどうしよう。先生は、僕のことを誇りに思わなくなってしまう』と思ったジョージは、先生との接触を避けようと思うようになった。結局ジョージは、先生を避けて行動するようになってしまった。」

とにかく、何とかして用意していた自論に持ち込んで、最後はもうぐちゃぐちゃに書いて終わりました。前半はよかったんだけどなあ。

5、2次試験 2日目

集団討論・・・テーマは「最近家族関係の希薄化が言われていますが、理想の家族関係とはどんなものであるか」といったないようです。他のグループでも、そんな感じの質問だったみたい。私のグループは、講師の人ばかりで、現役の私はすごく緊張しました。でも、一緒にやって、思ったのは、講師の人も人間だということです。みんな緊張していて、声が震えてたり、手が震えてたりしているのを見て、私だけが緊張してるんじゃないんだ。と、ヘンに安心しました。でもやっぱり、言うことは説得力があって、経験に裏づけされてて、すごかったです。へえ～。と、本気で聞いてしまう時もあった、あせりました。

個人面接・・・集団討論で思いっきり緊張していたので、個人の時はちょっと疲れてしまったのか、緊張はあまりしませんでした。質問は、大きく分けて4つの種類でした。

- 1、 自分の教育方針や、望む子どもの姿など、基本的な質問
- 2、 クラスで起こりうる事件や、保健指導など、具体的な質問
- 3、 意表をつく質問（本には載ってないような）
- 4、 事務的な質問、履歴書についての質問

次々と質問され、大変でした。でも、1次と同様に、自分のやってきたことを基に、自信を持って答えつつもりではあります。でも、ところどころ、考え込んでしまうこともありました。

体力測定・・・踏み台昇降、反復横とび、腹筋の順番でやりました。みんなで一斉にやるので、見てると笑えます。そして、踏み台昇降が以外にキイタ・・・疲れた！

以上が、私が見た愛知の教採の全てです。10月に結果が来るので、それまでドキドキですごしたいと思います。

匿名さん、お忙しい中貴重な体験談をありがとうございました。
管理者@わんこ